

事例：キルギスでの一村一品運動における株式会社良品計画との共創

概要

■現地の開発課題

相次ぐ政変で経済が停滞、多くの人が国外へ出稼ぎに行き地域コミュニティも衰退。地域資源を活用した雇用創出や、女性の自立支援が必要

■JICA：技術協力「イシククリ州コミュニティ活性化プロジェクト」

一村一品（OVOP）運動を通じて、コミュニティを活性化し、地域振興へと発展する持続可能な体制を構築

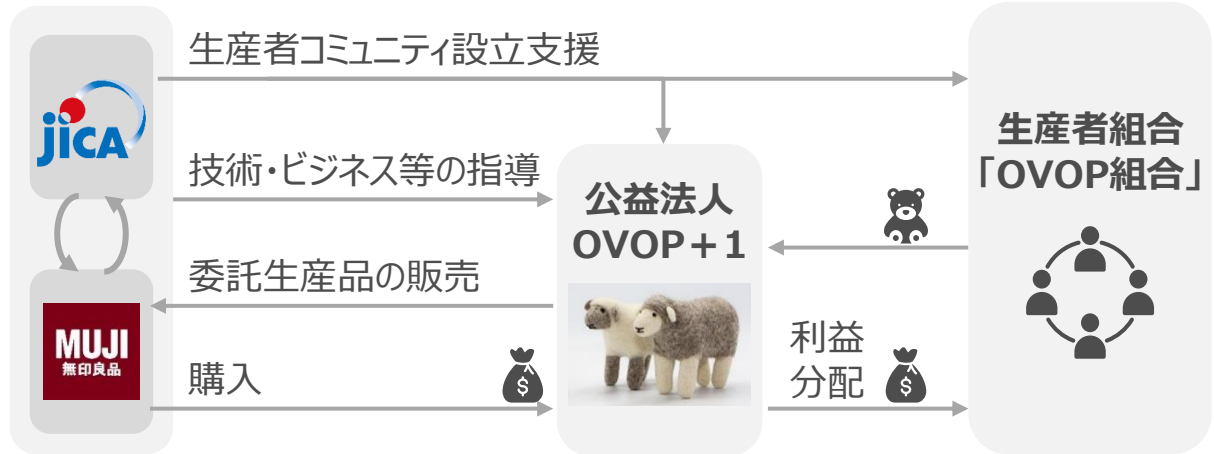
- 生産や流通を共同作業で効率的に行うための農民組織を組成
 - － 住民2,000人、176生産者グループのコミュニティ設立
- 技術・ビジネス・マーケティング等の指導

■株式会社良品計画：JICAとの連携での商品開発を打診（2010年）

商品の企画・デザイン、販売に向けての技術指導、委託生産品の購入

- 途上国のものづくりを支援する商品開発を企画しJICAに打診
- 開発・生産を委託した製品を買い付け、世界各地の「無印良品」の店頭で販売
 - － 厳しい商品基準をクリアできるよう指導

共創イメージ



参考リンク

- [イシククリ州コミュニティ活性化PJ（技術協力、2006～2011年）](#)
- [特産×OVOPで世界に挑む キルギス（JICA HP）](#)
- [キルギスの一村一品運動はなぜ成功したのか？ ゼロからの取り組みが国家プロジェクトに進化した理由（JICA HP）](#)
- [高付加価値の製品を生み出すキルギスの一村一品運動（政府広報オンライン）](#)
- [『品質を追求しキルギスのブランドを世界へー途上国支援の新たな可能性「一村一品プロジェクト」』（2023年発行）](#)